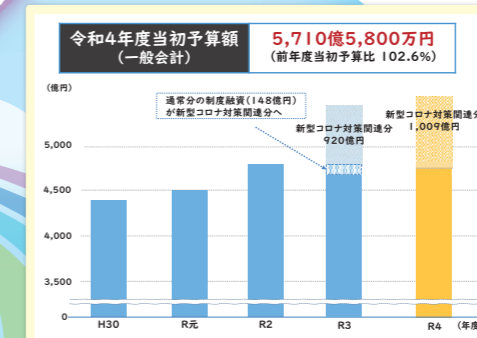


# 人を育み、 佐賀が持つ素晴らしさを 一層輝かせる予算2022

「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念に、令和4年度の当初予算を編成しました。総額は、5,710億5,800万円、新型コロナウイルス対策と豪雨災害対策への経費増加などを背景に、前年度に比べ2.6%増、過去最大の予算規模となります。コロナ禍の先に向かって前進し続ける源泉は「人の力」だと思えます。「佐賀だからこそのことができる」ことを一つひとつ大切に、さまざまな分野において、これからも「人を育み、人と手を取り合いながら新たな時代を切り拓いていきます」。



さまざまな分野で  
育成に力を込め、  
「人づくり大県さが」  
を創っていきます。



佐賀県知事  
山口 祥義

## 子どもの未来を育みます 子育てし大県を推進

10.5億円

出会い・結婚から子育てまで切れ目ない支援を展開。県独自コンテンツを利用した結婚式の開催やその発信など、結婚への機運を醸成します。また、県独自の不妊治療費の支援や、LINEを使った情報発信の仕組みづくりに取り組みます。



## 少人数学級を拡充

1.6億円

県独自に小学校4年生を35人学級とし、一人ひとりに寄り添った指導を実現します。



## 人の想いに 寄り添います 佐賀らしいやさしさ 「さがすたいる」

4,800万円

「さがすたいる」とは、誰もが自分らしく、心地よく過ごせる、佐賀らしい、人に優しいまちのスタイル。さがすたいるフェスを開催するほか、県立図書館に、触る絵本や大活字本などを揃え、談話や飲食が可能なスペース「みんなの森(仮称)」を新設し、誰もが読書を楽しめる環境をつくります。



## 園芸農業・林業を もっと元気に

## さが園芸 888運動の推進

25.1億円

「稼げる園芸農業」の確立を目指し、5カ所目のトレーニングファーム(神崎市)や園芸団地(武雄市)を整備するなど、担い手と産地を育みます。



## さがの林業再生プロジェクト

8,500万円

即戦力となる林業人材を育成する「さが林業アカデミー」を開校し、林業の魅力に触れる体験会や技術習得研修などを開催。そのほか、林業の機械化などを推し進めます。



## 「はじまりの名護屋城。」 プロジェクト

2.1億円

日本文化発展の「はじまりの地」として、史実にちなんだ大茶会の開催や黄金の茶室・草庵茶室の活用、陣跡整備などとおして、名護屋城の魅力や本物の価値を伝えていきます。



## スポーツの力を活かして 人を育みます 世界に挑戦する アスリートの育成拠点の創出

9億円

鳥栖工業高校に新レスリング場を、多久高校には新たにスポーツクライミング施設を整備し、世界に挑戦するアスリートの育成拠点として練習・競技環境の充実を図ります。



## さがを支える 社会資本を整備します

## 幹線道路網の整備

32.8億円

有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続する「Tゾーン」や、今年度開通予定の大川佐賀道路の諸富IC(仮称)など、広域的な幹線道路網の整備を推進します。



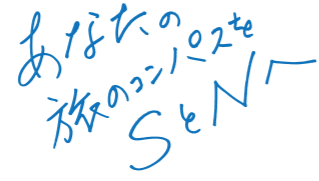
Tゾーン  
※イメージです

整備予定地  
佐賀市嘉瀬町付近

## 佐賀・長崎デスティネーション キャンペーンの展開

新幹線の開業効果を  
県内全域に広げます  
5,400万円

国内最大級の誘客キャンペーンを展開し、歴史や伝統を感じる旅をつくり、県内各地に全国から観光客を呼び込みます。



## JR唐津線・筑肥線全車両をロマ佐賀列車に

4,200万円

人気ゲーム「サガ」シリーズとコラボして、ラッピング列車「ロマ佐賀列車」を運行し、唐津線全駅もラッピング。観光列車としての唐津線の利用を拡大させます。

※JR筑肥線は、山本駅～伊万里駅のみ



## 新型コロナウイルス 感染症対策

245億円

医療体制を強化する「プロジェクトM」を引き続き実施。ワクチン接種の加速化に向けて、大規模接種会場の開設や追加接種を行う医療機関の支援を行います。



## 県民の 命を守ります

## 佐賀県内水対策・ プロジェクトIF

37億円 ※2月補正を一部含む

豪雨災害は毎年起こりうると想定し、排水ポンプ車の整備や、水田に一時的に雨水をためる「田んぼダム」の推進など、被害を軽減させる内水対策に取り組みます。

